

2017年3月10日
昭和電線ホールディングス株式会社

東日本大震災から6年
－災害に対する昭和電線グループの取り組み－

明日、東日本大震災の発生から6年となりますが、その間も熊本地震をはじめ台風や豪雨による水害など多くの自然災害が発生いたしました。あらためて、災害により亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

これらの災害に対して、昭和電線グループは、社会インフラ構築の一翼を担う企業として、防災や減災のための製品開発や普及を推進しております。東日本大震災をはじめとする大規模地震においても、当社が携わった免震構造の病院などの公共施設や集合住宅が健全な状態で守られており、その高い機能維持効果が実証されました。また、地震以外にも強風対策、火災対策を施した製品なども手掛けており、幅広く防災や減災に取り組んでおります。

災害が頻発する今日、とりわけ多くの人命や社会・生活基盤に甚大な損失をもたらす地震に対しては、昭和電線グループは、30年以上の歴史をもつ免震技術のパイオニアとしての責任を今あらためて痛感しております。今後も微力ではございますが免震技術をはじめとする防災や減災に対する技術向上と普及に努め、社会と皆様の生活の安全と安心に貢献してまいります。

昭和電線ホールディングス株式会社
取締役社長 中島 文明

この件に関するお問合せ先

経営企画部 IR・広報グループ 舘山 雄一 TEL 03-5404-6951